

『研究と活動の報告』

ボランティア活動受入 2009年5月16日, 7月19-20日

富士山でのインタープリテーション活動 実施報告

自然再生活動部会／中村華子

当会では、富士山で森林復元活動を行っていますが、自然をよく知るための講座や観察会を組みこんだ、植林体験活動を行っています。各種の外部団体から、植樹や観察会への参加受入の申し出が寄せられた場合は、出来る限り受け入れていきたいと思っています。部会の活動に参加している会員が手分けしてリーダー役を務め、案内を分担しています。現場での時間配分、天候への対応などもお任せしています。2009年は2つの団体を受け入れることができました。限られた時間で、厳しい日程の中、両回とも概ねスムーズに終了致しました。案内役をお願いした会員諸氏に、この場を借りてお礼申し上げます。

<三井住友銀行ボランティアスタッフ YUI 7月19日-20日>

YUIは銀行員が個々人でボランティアを行う際の企画や活動支援を行う行内クラブで、東京と大阪の2箇所に分かれて活動をされています。今年度で10周年になることを記念して、はじめて植樹を体験してみたい、と希望があり、受入させていただくことになりました。

参加者は東京、大阪を中心に各地から集まった皆さん、あわせて43名でした。ご家族連れや女性行員の方の参加が多く、にぎやかな活動となりました。

アウトドアの経験がほとんどない方がご参加とのことで、当日までの準備などいろいろ大変でしたが、日頃、地域のボランティア活動に参加している方が集まっているため、参加者の意識が高く、積極的な方ばかりでした。天気にも恵まれて楽しい二日間となりました。

○ **開催日** 2009年7月19日(日)～20日(月・祝) 1泊2日

○ **スタッフ**

阿部公博、石井健司、井上百合子、今泉範子、小川裕紀子、国木田之彦、傍島夏生、武田直弘、玉国和浩、花村由紀子、室村聡、山田祥二郎、中村華子

○ **日程と活動内容**

YUIのみなさんは日比谷に集合 → バスで三島へ 三島駅で大阪方面の参加者と合流
19日午後に当会と合流して植林地へご案内

1. 7月19日午前 **植林地での植樹活動準備**：地拵え・草刈り・苗木準備等
2. 7月19日昼食後 YUI参加者と合流(富士教育研修所 駐車場にて)
3. 7月19日午後 **植林地での植樹活動**
4. 7月19日夕食後 **ミニトーク**：「里山は草山だった」国木田之彦、当会の活動紹介
ミニトークの後、懇親会 (“midori” ～繋がる輪～ 手話つきで合唱)
5. 7月20日午前 **自然観察ハイキング**：西臼塚周辺
※足の不自由な方は別の班でゆっくりハイキング

<NTT 労組・ボランティア活動受入 5月16日>

NTT 労組東日本本社総支部ではさまざまな社会貢献活動を行っています。その一環として自然保護活動を企画され、当会では2006年から活動の受入をしています。

2009年は例年よりも規模を拡大して組合員から参加者を募集し、5月16日に日帰りで(1) 森林の観察会と山取苗の採集体験 (2) 植林地での植樹活動を行いました。

当日は霧～雨が降り出す天候で、予定よりも植樹の時間を短くして実施しました。仕方ないことでしたが、参加者の皆さんからはもっとやりたかったという声が多かったようです。

○参加者の構成

一般組合員が応募で参加。家族連れを含む参加者85名。環境保護の活動や環境ボランティアにこれまでに参加したことのある人は1/4程度、以前に参加したリピーターの方もいたようですが、植樹をはじめこのような活動は初めて参加する方が多かったです。

家族連れの方は環境教育のために役立つのでは、という動機が多かったようでした。

○日程と手順、活動内容

1. 事前学習： NTT参加者にはバスの中でレクチャー、活動内容や日程について説明
2. 午前：自然観察会 グリーンキャンプ場付近の広葉樹で森の観察会

活動1：自然観察会と山取苗の採集体験

井上百合子、池田公明、傍島夏生、室村聡、中村華子

活動2：植林地での植樹活動準備：地拵え・苗木の準備等

石井健司、小川裕紀子、国木田之彦、武田直弘

3. 午後：植樹作業 富士山国有林200林班た小班 山の自然学クラブ協定林

活動：植林地での植樹活動

※2チームに分けて植樹活動を行う予定でしたが、午後は雨が降り出したため、雨の合間を縫って活動し、時間を短縮、全員が一箇所で植樹を行いました。

午前中に採集した山取苗は全て植栽することができました。



NTT 労組のみなさん
2009年5月16日

7月に参加した Yui の皆さんが参加した感想を書いてくださいました。ご了承を得て、一部をこちらに掲載させていただきます。幹事さん始め Yui のみなさん、ありがとうございました！

1. 植林について

・慣れないことではじめはドキドキしましたが、楽しかった。また、2, 3 本をまとめて植えることにより、木が相互に助け合い、競り合いをして生き残るという自然の成り立ちを見て、感動しました。

・苗木を植えてきちんと土を押さえる加減がすこし難しかったが、下準備をしていただいて、何でもお聞きすれば打てば響くように答えていただき、初めての植林もとても安心して楽しく作業をすることができました。私たちが植えた木が大きくなってきていることを祈り 5 年後か 10 年後に見に来たいものです。

2. 懇親会（説明会）について

・日本の「ぶな」であればどこのものも一緒だと思っていました。木の遺伝子など正直言って考えたことなどなく、植林をすればいいと思っていましたので優しく分かりやすく教えていただき、周辺の森から採取した種で苗木をつくる大切さがわかりあらためてたいへんなことと思いました。また、里山についてのお話も興味深かったです。

・日本の自然が種類に富んでいるというのを初めて知った。富士山の緑が日本海側の種と一緒にあること、その歴史がわかってよかった。

・富士山のつくられ方を学び、水の豊かさを知り、また豊富な水資源の豊かさを感謝すると共に、自然を大切にしたいと感じました。今後時間があれば、このような企画になるべく参加し、さらに意識して自然の大切さを学んでいきたいと思えます。

・ブナの分布と富士山との関連性や南北メダカの分岐時期等々、大変興味深く、自然の神秘や偉大さをあらためて感じました。昔の日本が今よりも緑が少なかったというのは意外でした。

3. フィールド観察（森林ハイキング）について

・説明を聞きながらの観察はただ歩くだけではなくすごく楽しかったです。いろんな木々たちなどが個性を発揮しながら生きていることのすばらしさを感じ、人間がそれを壊してはいけないとつくづく思いました。今回は苔の多さにびっくりしたし、倒れた木々にも役割があることを知りました。

・一番心に残ったのが、森林ハイキングでした。森の中を観察しながら歩いていくのが、こんなにさわやかで気持ちの良いものとは思いませんでした。ブナやカエデの大木、初めて小さな火口を見ました。キハダのいがさも忘れたいと思えます。ぜひ、機会があったら私たちの植えた木のその後を見に行きたいと思えます。

・帰宅後、皆既日食の番組で屋久杉の杉が倒木の苔に落ちた種のうち太陽の恵みを受けた一粒が発芽して巨大な屋久杉に成長するという映像を見たが、このハイキングを経験したことで、より実感を持てた。

・話はわかりやすく、植物や動物がそれぞれの種の保存のためにどういった工夫をしているか等々、前夜の説明会同様、興味深いものばかりでした。クラブのみなさまも道すがら出会った植物についていろいろ教えてくださり、充実したハイキングでした。

その他 感想(かんそう)なんでも

植林の説明を聞いている時は、難かしそうと思ったが、実際にやってみると、意外に簡単だった。簡単というより楽しかった。懇親会では、いろんなことが分かった。

2. 懇親会(説明会)について

富士山の位置のことや、二次林の意味などが分かった。とても勉強になった。

国土面積の内66%が山林ということが分かって、日本は山林が多いと思った。

3. フィールド観察(森林ハイキング)について

見たことのない植物を発見した。

サンショウの木があったことなんて知らなかった。

黄膚の黄色い皮はおいしかった。

その他 感想(かんそう)なんでも

スコップですのこめくらいほることは、かんたんではなかったけど大きくなることを考えるととても楽しかった。早くカエデとブナガスミキになってほしい。



2. 懇親会(説明会)について

1800万年も前からメダカが生きていると言ふことは、私のかつてのメダカの前前前……メダカはどんなかんきょうで生きているのかなあと思いました。



3. フィールド観察(森林ハイキング)について

ハイキングはとても楽しくてはじめて見る草花がたくさんあった。

ヒメシャラは、ツルツルで、まるでサルスベリのようなだった。



☆☆ ありがとうございました ☆☆ ボランティアスタッフ Yui